

公益社団法人信和会 2023年度事業活動・経営報告(抜粋)

2024年5月21日 法人常務理事会
2024年5月22日 法人決算監査
2024年5月28日 法人理事会

【1】事業活動報告

(1)事業活動の概況

2023年度は、全体スローガンを「持続可能な地域と法人と平和な世界を！学びと連携の輪を広げ強めて」とし、質の目標・事業の目標・組織強化と理念的活動の目標の3つの柱と推進母体を決定しました。公益事業として認定されているあすかい病院や茶山のさとはもとより、公益社団法人としてのガバナンスを遵守し、無料低額診療事業や社会貢献活動など公益的活動をより重視して取り組みました。

(ア)質の目標

- ①事業所ごと・部署ごとに、CO2排出量減少につながる数値目標を一つ以上設定し総達成しよう！
- ②災害対応の話と複雑事例の話を通じて、地域他団体や法人外の事業所と対話しよう。
- ③HPH加盟を3事業所つくろう。

(イ)事業の目標

- ①以下の指標を、法人内事業所の力と、法人外事業所との連携力で達成しよう！
 1. あすかい病院入院病床稼働率目標にみあった入退院件数目標数値を設定し法人内事業所で共有する。
 2. 茶山のさと入所稼働率目標にみあった入退所件数目標数値を設定し法人内事業所で共有する。
 3. 法人内通所事業稼働率目標にみあった新規導入件数設定し法人内事業所で共有する。
- ②法人中長期事業計画を確定しよう！ 一対象:法人常務理事会・法人理事会
- ③2024改訂にむけた情報収集(介護も含むチーム確立)を行い、改めて各事業所のポジショニングの再評価をしよう。

(ウ)組織強化・理念的活動の目標

- ①ICTに強い組織と職員になろう！
- ②信和会70周年に向け、歴史に学び成長する組織風土と体制の強化を！
 1. 管理者の初任者オリエンテーションを具体化していく。
 2. 第3期幹部養成講座に取り組む。
- ③地域・患者・利用者さんの困難ことごとん寄り添う課題のひとつとして、無料低額診療制度の広報と活用を抜本的に強化改善する。
- ④信和会共同組織新方針(案)を2024年度4月から完全実施を目指します。2023年度は調整のための最後の1年間として、合意形成を確実にすすめるながら可能なことから段階的に具体化及び実施をすすめます。

法人として2023年度予算は、2022年度決算見通しと資金予測を前提に、資金計画と利益計算上でポイントとなる減価償却費、退職給与引き当て、年間投資予算、協力金返済、銀行返済などの要素を反映させ、安定的に運用ができる期末での現預金残高を試算し、その現預金残高に見合う必要利益として90,129千円としました。第5回理事会(3月28日)において、2023年度の事業と予算を確認しました。

コロナ感染症対応に尽力した医療・介護・障害福祉分野では、資材の高騰や離職者の増加で存続の危機に直面しています。低賃金で慢性的な人材不足により事業の撤退に追い込まれる施設も相次いでいます。

2024年度診療報酬改定の「本体」改定部分を0.88%引き上げる一方、「薬価」は1%引き下げ、全体で△0.12%のマイナス改定となり、5回連続のマイナス改定となりました。診療報酬は1996年以後、本体のみで見ても、2022年度改定までの26年間の伸び率は年平均僅か0.27%です。診療報酬改定率は、医療従事者の処遇改善どころか、この間の物価高騰、人件費の上昇分にはまったく届いていません。コロナ関連の補助金や特例加算が大幅に縮小、廃止され、医療機関の置かれている状況は、事業の継続に必要な医療従事者の確保、働く職員の処遇改善どころか設備投資すら困難な状況が生じています。

2024年度の介護報酬改定率は、プラス1.59%です。そのうち0.98%が介護職員の処遇改善を目的として、残り0.61%が介護職員以外の処遇改善を目的として引き上げられます。

しかし、介護報酬改定は物価高騰に見合っておらず、訪問介護の基本報酬は、身体介護、生活援助、通院乗降介助のすべてにわたって軒並み 2~3%引き下げられています。低賃金による職員不足の深刻化、小規模事業所の倒産・休廃業の増加が懸念されます。さらに介護保険は、利用料 2 割負担の対象拡大、ケアプランの有料化、要介護 1、2 のサービスの保険外しは 2027 年度導入をすすめようとしていいます。事業所は人件費だけで運営しているわけではなく、利用者に必要な訪問介護サービスを確実に届けられるよう安定的な事業運営を実現するためには基本報酬の底上げが不可欠です。

私たちの事業と経営は、民医連綱領に掲げた無差別・平等の医療・介護の実現、利益を目的とせず、非営利・協同を理念としています。

軍事増大・大国化と一体にすすめられようとしている社会保障削減に対し、いのち優先の社会を実現し、地域のみなさんの生活、いのちを守り誰もが安心して暮らせる地域包括ケアを推進していきます。

こうした信和会事業を進めるためにも、施設改修や機器備品等更新、職員の適正な処遇改善のために、必要な利益を確保し経営改善に取り組んでいきます。

【2】経営の概要

(1)2023 年度経営活動の結果

経常利益	△129,768 千円
予算比較(予算 90,077 千円)	△219,845 千円
前期比較(前期実績△39,618 千円)	△90,150 千円
当期純利益	△119,648 千円
予算比較(予算 90,077 千円)	△209,725 千円
前期比較(前期実績 44,604 千円)	△164,251 千円

(2)2023 年度経営結果特徴

事業収益は予算に対して 94.3%△330,749 千円と大きく乖離し、事業費用では人件費をはじめ予算比で 99.0%△54,533 千円と抑えましたが、経常利益では△129,768 千円となり、経常利益予算 90,077 千円に対して△219,845 千円と大きく乖離する結果となりました。

医科事業所全体・介護事業所全体、共に経常利益予算に大きく乖離、前年実績からも大きく後退しています。

あすかい病院・川端診療所・東山診療所での予算未達額が大きく影響しました。

あすかい病院は、事業収益は 2022 年度と比較してある程度回復しましたが、経常利益予算からは大きく乖離、また材料費・経費での予算超過・前年実績超過があったことも大きな要因となりました。償却前利益確保が重要な課題でしたが、大きな赤字となりました。

川端診療所は、外来透析収益が伸び悩みました。東山診療所は、外来通院収益は予算達成するも、在宅・通所で大きな予算未達成となりました。

訪問看護サービスでは 2 ステーション、訪問介護サービスでは経常利益予算を達成しました。その他訪問系事業所、居宅介護支援事業所は体制課題等があり、加算取得が出来ない状況が続き予算未達成となりました。

介護医療院茶山のさとは、新型コロナウイルス感染の影響を最小にとどめ、入所を確保して施設収益予算は未達成ですが前年の収益比較では大きく改善しました。

以上